

えっ! 水害は「もしも」じゃない

令和元年東日本台風では、荒川の本流でも非常に高い水位を記録したんだ。水害は他人事じゃないよ!

自分の街や地域の 水害リスクを知ろう

48歳2児の父親、落語家の三遊亭鬼丸です。

さて、雨の季節ですねえ。「令和元年東日本台風」を覚えていますか。荒川水系では、堤防が決壊するなど甚大な被害が出ました。私が暮らすさいたま市でも、浸水被害が相次ぎました。

最近、雨の降り方も
気になりますね。アツとい

う間に道路が川のようなほどの激しい雨は、決して珍しくありません。水害は「もしも」の事態ではないんです。自らの命を守るために、まずはみなさんが暮らす街や地域にある「水害リスク」を知って、日頃から水害に備えておきましょう。

荒川・羽根倉橋付近(左岸)=2019年10月14日
埼玉新聞掲載



三遊亭鬼丸
×
荒川上流河川事務所

FM・NACK5の人気番組『GOGOMONZ』(月~木13:00~16:55)のパーソナリティーとして活躍中の落語家・三遊亭鬼丸さんが、荒川上流河川事務所とコラボしました。さいたま市に在住で、荒川の河川敷でゴルフを楽しんだり散歩したりと、荒川に縁の深い暮らしをぶりの鬼丸さんが「荒川の今」を紹介します。

洪水ハザードマップを活用しましょう!

洪水ハザードマップは、洪水が起きた場合に浸水の危険がある地域及び避難ルートや避難場所などの防災情報を地図にまとめたものです。「わがまちハザードマップ」サイトでは、市町村が公開している様々なハザードマップを入手することができます。

新たな
「大雨・洪水警戒レベル」

わがまちハザードマップで 検索



スマホでもハザードマップを
入手できます

災害時の呼びかけを「避難指示」に一本化

防災情報を5段階の危険度で分類する「大雨・洪水警戒レベル」が改訂され、災害時に市町村が発令する「避難勧告」が廃止され、「避難指示」に一本化されました。避難指示が発令されたら、直ちに「危険な場所から全員避難」してください。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	避難情報など	これまで
5	災害が発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保	情報発生
レベル4までに必ず避難				
4	災害発生の恐れが高い	危険な場所から全員避難	避難指示	避難勧告
3	災害発生の恐れがある	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	避難準備

*レベル2, 1は省略

知っておかなきゃ、
あなたの街の
洪水ハザードマップ

驚いたねえ!
水害は昔の話
じゃないよ

知ってください。
命を守るために、
すべし

避難行動に役立てましょう! 「浸水ナビ」「川の防災情報」サイト

国土交通省の「浸水ナビ」サイトは、大きな川の堤防が決壊した場合、時間の経過とともに浸水エリアがどう広がるかを確認できます。また、「川の防災情報」サイトは、雨の状況や川の水位などをリアルタイムでお知らせします。



「浸水ナビ」サイト。浸水の広がりが
時間経過とともに分かります

浸水ナビで 検索



川の防災情報で 検索



いっぺん観てごらん!
鬼丸さんのコメント動画はコチラ!
荒川の取材を終えた鬼丸さんを直撃インタビューしました。荒川の今を学び、現場を訪れた鬼丸さんの生の声を動画でご覧ください。

